

SMBC日興証券 新丸の内ビルディング

エレクトロニクスで病魔に挑戦する日本光電 —事業概要と中期経営計画—

日本光電工業株式会社

(証券コード:6849)

2019年12月24日

取締役 上席執行役員

経営戦略統括部長 田中 栄一





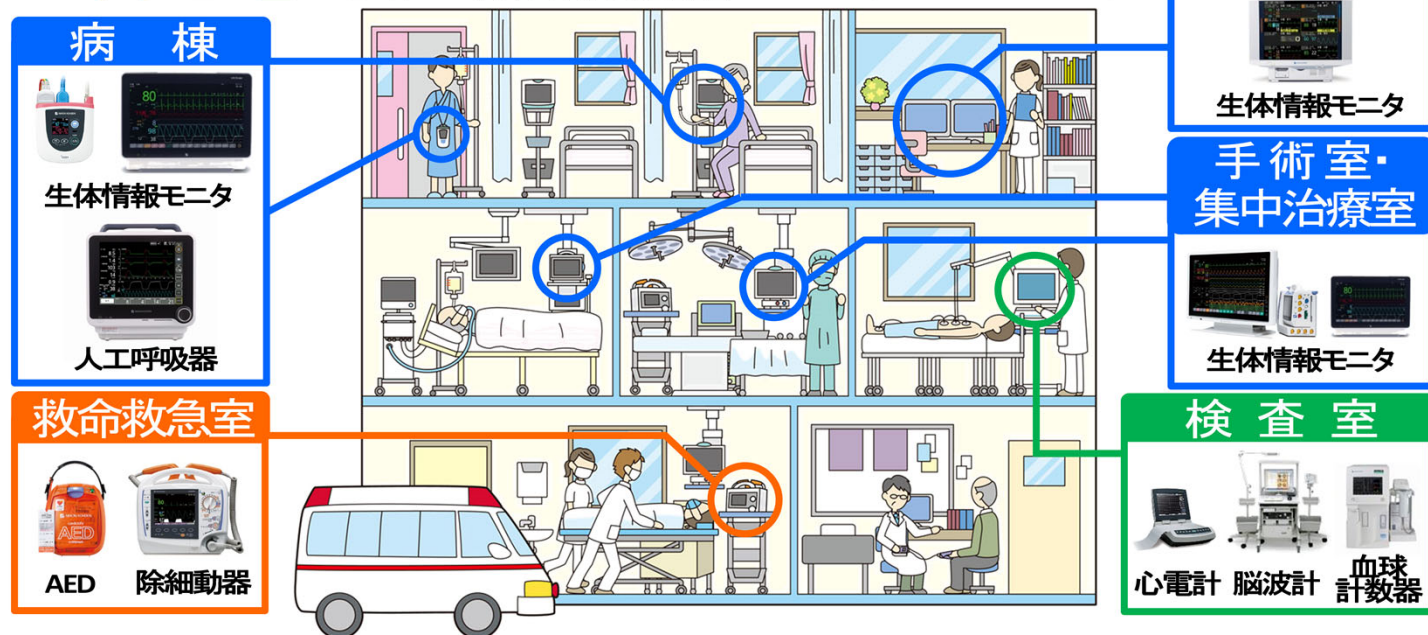
本日の内容

- 1 会社概要・日本光電の歩み**
- 2 長期ビジョンと中期経営計画**
- 3 株主様への還元について**
- 4 CSRへの取り組み**

1 会社概要・日本光電の歩み

日本光電ってどんな会社？

日本光電は医療機器メーカーです



3

- 日本光電は医療機器メーカーです。
- こちらは、病院の中をイラストにしたものです。
- 日本光電では、病院の検査室で使われる機器として、心電計、脳波計、血球計数器などを提供しています。
- 手術室、集中治療室、病棟で使われる機器として、生体情報モニタ、人工呼吸器を提供しています。
- また、救命救急室などで使われる医師向けの除細動器も開発しています。病院の他にも、街中でも見られるようになったAED(自動体外式除細動器)を提供しています。



会社概要

会社名 日本光電工業株式会社

設立 1951年8月

本社 東京都新宿区西落合1-31-4

資本金 75億4千4百万円(2019年3月31日現在)

従業員数 連結5,169名(2019年3月31日現在)

上場取引所 東証第一部 【証券コード:6849】



代表取締役 社長執行役員
荻野 博一

- こちらは日本光電の会社概要です。
- 会社名は日本光電工業株式会社で、呼称は日本光電です。
- 設立は1951年です。
- 本社は東京都新宿区にあり、資本金は75億円です。
- 従業員は連結で5,169名おり、このうち1,400名弱が海外の構成です。
- 東証一部に上場しており、証券コードは6849です。
是非このコードを覚えていただければと思います。

富岡から世界へ ―世界120ヵ国以上へ輸出―

上海光電(中国)



新興国市場向け製品を生産

マレーシア



SVM-7500

新興国市場向け
生体情報モニタ
を生産

富岡生産センタ(群馬)



当社医療機器の90%を
生産するマザー工場

- 日本光電の生産拠点についてご紹介します。
- 日本光電の生産拠点は、群馬県富岡市にあります。
富岡市は世界遺産となった富岡製糸場が有名ですが、
日本光電の工場も製糸場の近くにあります。
富岡の工場は、マザー工場として日本光電の医療機器の90%を
生産しています。
- また、中国、マレーシアにも主に新興国市場向けの製品を
生産している工場があります。
- これらの生産拠点から、世界120ヵ国以上の国々へ輸出しています。



**病魔の克服と健康増進に
先端技術で挑戦することにより
世界に貢献すると共に
社員の豊かな生活を創造する**

- こちらは、日本光電の経営理念です。
- “病魔の克服と健康増進に先端技術で挑戦することにより、世界に貢献する”
- この経営理念のもと、一つでも多くの革新的な医療機器を開発し、社会に貢献していきたいというのが我々の想いです。

創業時から受け継ぐ想い



創業者
医学博士 荻野 義夫

「一人の医者が救える命には限りがある。
しかし、医療機器なら、それを世界中に
広めることで限りない人々に貢献できる。」



わずか12名で発足

「『これは私達が開発したんだ』と
世界に向かって大きな声で言えるような
機器を1つでも多く。」

「本当のユーザーは医師の向こう側にいる
患者さんである。患者さんに優しい機器を。」

7

- 創業時について、少しご紹介します。
- 写真の人物が創業者の荻野 義夫です。
荻野はもともと工学部出身で、陸軍にて兵器開発に携わっていました。
戦後、医学部に入り直し工学と医学の造詣を深め、医用電子機器の
開発に志を立てました。そのまま医師になる道もありましたが、
「一人の医師が救える命には限りがある。しかし、医療機器なら、
それを世界中に広めることで限りない人々に貢献できる」
という思いから日本光電を立ち上げました。
- この思いに賛同したのがこちらの12名です。
当初は無給であったと聞いています。
- 「『これは私たちが開発したんだ』と世界に向かって大きな声で
言えるような機器を一つでも多く」ということで、
創業当時から世界への輸出を目指していました。
- また、「本当のユーザは医師の向こう側にいる患者さんであるため、
患者さんに優しい機器をつくろう」という強い思いを持っており、
このような思いは今でも日本光電の中に流れています。

強みはセンサ技術

**患者さんに苦痛を与えない
「センサ技術」の開発に注力**



1974年 パルスオキシメータの原理を
世界で初めて開発
指先にセンサをはめるだけで
血液中の酸素飽和度(SpO_2)を測定

- ・痛みがない
- ・連続して測定



医療現場で世界標準として使用されています

8

- 日本光電の強みはセンサ技術です。
創業以来、患者さんに優しい、苦痛を与えないセンサ技術の開発に注力しています。
- 日本光電では、様々なセンサを開発していますが、
ここではパルスオキシメータについてご紹介します。
- パルスオキシメータの原理を、世界で初めて発明・開発したのが日本光電です。
クリップ状のセンサを指にはめることで、血液の中の酸素飽和度を測定します。
以前は、採血する必要がありましたが、パルスオキシメータの技術により、
簡単に、痛みもなく、連続して調べることが可能になりました。
現在では、世界中の医療現場で標準として使用されています。

最初は脳波計

世界的な脳波計メーカー

1951年

世界初



全交流
直記式
脳波装置

現在

世界中の研修医を
受け入れる米国トップ
クラスの病院が当社の
脳波計を使用



第1位: ジョーンズ・ホプキンス

※全米病院ランキング



第10位: クリーブランド クリニック

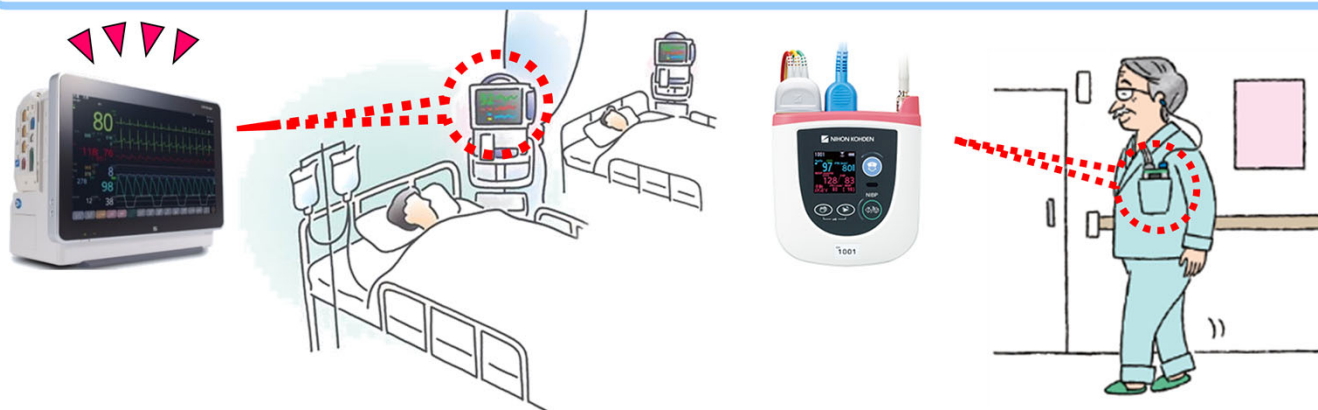
神経内科・脳神経外科部門 (2019-2020年)

- ここから日本光電の主力製品を3つご紹介します。
最初は、脳波計です。
- 日本光電は、脳波計の製造から始まった会社です。
1951年創業の年に、世界初の「全交流直記式脳波装置」を開発しました。
それまでの脳波計は電池で動くものでしたが、
脳波の検査は準備を含めて30分程度かかるため、電池式の場合、
検査の途中で電池を交換しなければなりませんでした。
しかし全交流直記式は、AC電源、コンセントから電源をとっているため、
途中で中断せずに検査を行うことができるようになりました。
- その後も、世界に先駆けて新しい技術を搭載した脳波計の開発を進め、
現在では世界中のお客様から、脳波計のトップブランドとして
認識いただいています。
- アメリカのジョーンズホプキンス大学や、クリーブランドクリニックといった
有名な病院でも日本光電の脳波計を使用いただいています。
こういった病院は、世界各国から医師を研修で受け入れています。
研修で日本光電の脳波計に使い慣れた医師は、母国に戻っても
日本光電の脳波計を使いたいということで、波及効果が期待されます。

次に生体情報モニタ

患者さんを見守る役割

患者さんの血圧、心電図、呼吸などを連続的に測定。
血圧が急に下がった場合など、容態変化を**アラーム**でお知らせ



10

- 続いて、日本光電の一番の主力製品である生体情報モニタです。
- 生体情報モニタは、患者さんの生体情報である血圧や心電図、呼吸などを連続的に測定し、容態に変化があった際にアラームを鳴らしてお知らせする装置です。
- 図のようにベッドのそばに設置するタイプと、患者さんが携帯できるタイプがあります。

生体情報モニタの特長

医療の安全に貢献



「鳴り過ぎない」「見やすい」アラーム

高
重要度
低

緊急
警戒
注意

緊急度に応じた
色分け

速くてやさしい血圧測定



- ・カフを加圧している間に血圧測定
- ・「痛くない」「速くわかる」



ヤワラカフ2



ディスボカフ



送信機 ZS-640P

※NIBP: Non Invasive Blood Pressure (非観血血圧)

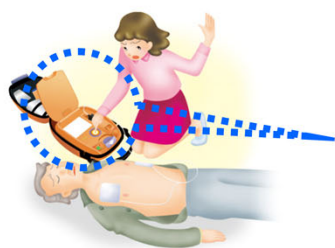
11

- 生体情報モニタの特長はいくつかありますが、まず、基本的な機能であるアラームについてご説明します。アラームは患者さんの容態が変化したことをお知らせする機能であり、患者さんの安全に関わります。日本光電は、アラームの信頼性を高める技術開発に取り組んできました。また、アラームの緊急度を示すために表示を工夫しています。一番緊急度が高いものは赤色、その次が黄色、その次が青色で、音もそれぞれ変えています。
- 日本光電は、医療事故の事例検証や医療現場でのご要望、ご意見を聞きながら、医療安全に向けて製品の改良を行っています。また、機器の正しい使い方などの講習会を各地で行っています。
- もう一つの特長は日本光電独自の血圧測定方式です。血圧を測定する際は、カフを腕に巻きますが、これまでは血液の流れを一旦止めるために、患者さんの最高血圧よりも高い圧力を加えて締め付けていました。日本光電の測定方式では、圧を加えている段階から測定を開始しますので、締め付けすぎず、短時間で測定できます。また、手術中は5分おきに血圧を測定するため、腕に巻くカフの締め付けによる皮下出血が起こることがありましたが、日本光電ではカフそのものを改良し、皮下出血が起こりにくい工夫もしています。

国内唯一のAEDメーカー

AED(自動体外式除細動器)

日本企業ならではの細やかな心配りで、AEDの普及に貢献



2004年7月から一般市民も使用できるようになり、様々な施設への導入が進んでいます



♥ 全国でAED講習会を実施



♥ 東京マラソン2019をAEDでサポート



©Tokyo Marathon Foundation

12

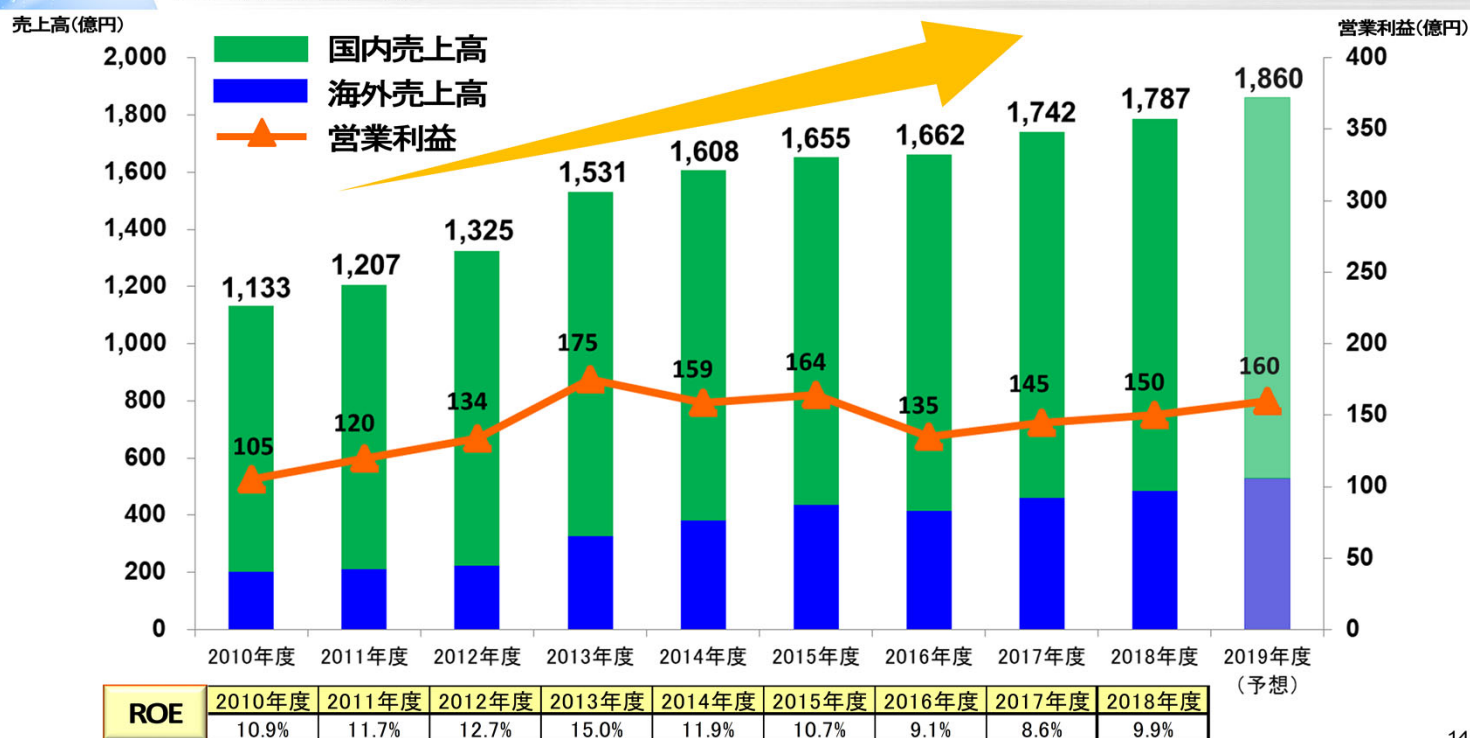
- 3つ目の主力製品はAEDです。
日本光電は国内唯一のAEDメーカーで、オレンジ色のAEDが日本光電のものです。
- AEDは、日本語で自動体外式除細動器と言います。
日本では、2004年7月から一般の方でも使えるようになり、急速に設置が進みました。
- 日本光電は、AEDの普及に努めるだけでなく、全国でAED講習会を実施しています。
- AEDは音声ガイドに従って簡単に操作することができますが、実際の場面では1分1秒を争うこととなりますので、いざというときに落ち着いて救命できるよう、機会がありましたら是非AED講習会を受けていただければと思います。
- 日本光電では2007年の第1回から東京マラソンをAEDでサポートしています。国内唯一のAEDメーカーならではの社会貢献としてこの取組みを継続していきたいと考えています。

2 長期ビジョンと中期経営計画

13

- 続きまして、長期ビジョンと中期経営計画についてご説明します。

業績推移



14

- こちらは、日本光電の過去10年間の業績の推移です。
棒グラフの緑色の部分が国内売上高、青色の部分が海外売上高、
オレンジ色の折れ線グラフが営業利益を表しています。
- 売上高につきましては、過去最高を更新しています。
- 営業利益につきましては、海外の先行投資や研究開発費など、
販売管理費が増加した影響で低迷していましたが、
2017年度からは増益に転じ、回復傾向にあります。
- 今期の通期業績見通しは、売上高1,860億円、営業利益160億円で、
増収増益を目指しています。



長期ビジョン・中期経営計画

長期ビジョン (2010/4～2020/3)

創立60周年を機に、10年後の2020年に向けた長期ビジョンを策定

The CHANGE 2020
—The Global Leader of Medical Solutions—

2020年の目指すべき将来像

世界初の
革新的技術の確立

世界最高品質の確立

グローバルシェア
No.1の獲得

中期経営計画

10年間で3つのステージに分け、中期経営計画を策定・遂行

2010年4月

2013年4月

2017年4月

SPEED UP III

Strong Growth 2017

TRANSFORM 2020

15

- 日本光電は、創立60周年を機に、10年後の2020年に向けて長期ビジョンを策定しました。
- この長期ビジョンでは、2020年の目指すべき将来像として、「世界初の革新的技術の確立」、「世界最高品質の確立」、「グローバルシェアNo.1の獲得」の3つを掲げ、中期経営計画を策定、遂行してきました。



～高収益体質への変革～

基本方針

- ① 高い顧客価値の創造
- ② 組織的な生産性の向上

6つの重要課題

地域別事業
展開の強化

コア事業の
さらなる成長

新規事業の
創造

技術開発力の強化

世界トップクオリティの追求

企業体質の強化

人財育成・組織風土改革

- 2017年度から始まった中期経営計画「TRANSFORM 2020」では、「高収益体質への変革」をテーマに掲げています。
- 基本方針は、「高い顧客価値の創造」と「組織的な生産性の向上」です。
- この基本方針のもと、ご覧の6つの重要課題に取り組んでいます。
この中から、「コア事業のさらなる成長」「地域別事業展開の強化」について詳しくご説明します。

4つの商品群

④ その他

血球計数器や試薬、
仕入商品など

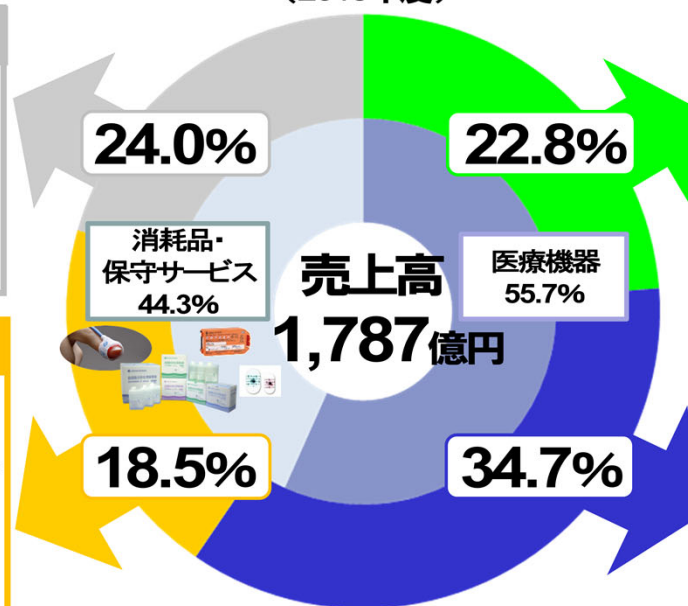


③ 治療機器

除細動器、AED、
人工呼吸器、
心臓ペースメーカーなど



売上構成比
(2018年度)



① 生体計測機器

脳波計、心電計など
の検査機器



② 生体情報モニタ

生体情報モニタ、
関連の消耗品、保守
サービスなど



- 先ほどご紹介した3つの主力製品を含む4つの商品群の売上構成についてご説明します。
- 脳波計や心電計などの生体計測機器が22.8%、生体情報モニタが34.7%、除細動器やAEDが含まれる治療機器が18.5%、血球計数器などのその他が24.0%、という構成です。
- 売上の中には、機器以外に関連の消耗品や保守サービスの売上も含まれており、安定収益につながっています。

コア事業の
さらなる成長

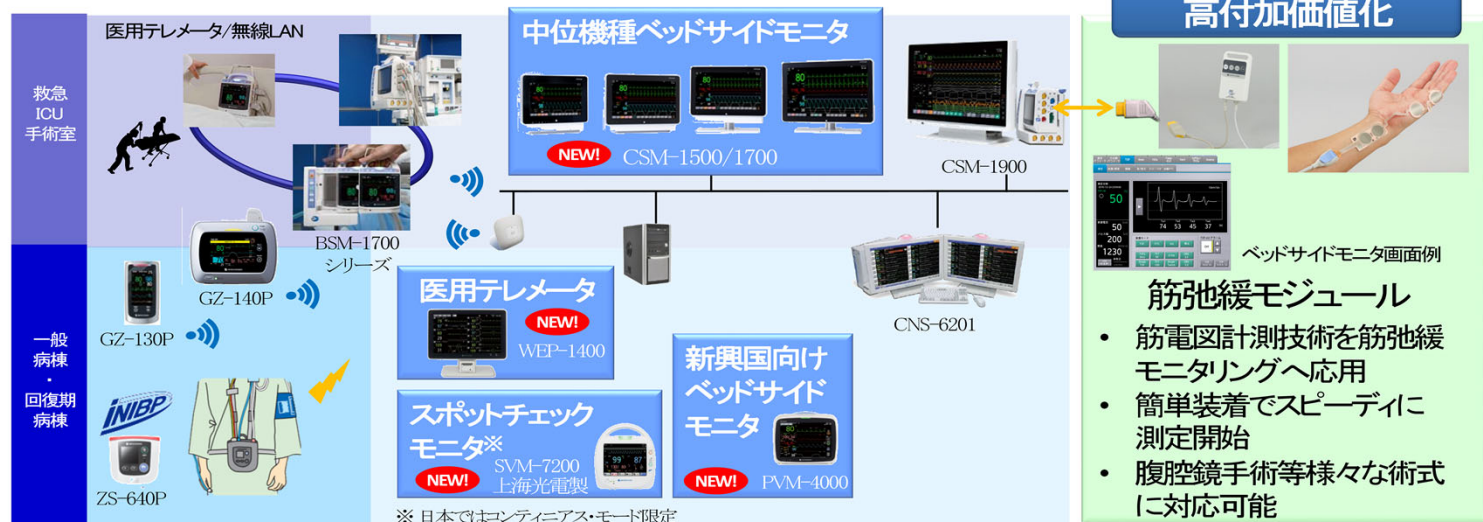
地域別事業
展開の強化

生体情報モニタリング事業

✓ 医療の質と効率、患者安全の向上に
貢献するモニタリングソリューションの提供

製品ラインアップの拡充・ネットワーク対応

コア技術の融合による
高付加価値化



18

- コア事業のさらなる成長に向けた、生体情報モニタリング事業の取り組みについてご紹介します。
- 生体情報モニタは、用途に応じた製品ラインアップを拡充しています。重症な患者さんを対象とする救急、ICU、手術室で使われるベッドサイドモニタとして、昨年、中位機種のCSM-1500/1700を発売しました。この中位機種ベッドサイドモニタは、上位機種の機能と操作性を継承し、独自機能による高い付加価値を有しています。
- 2019年6月、一般病棟、回復期病棟で使われるスポットチェックモニタをラインアップに加えました。また、7月には、ナースステーションで使われる医用テレメータの新製品を発売しています。
- 新興国では、基本的な機能を有する安価なベッドサイドモニタの需要があります。新興国向けのベッドサイドモニタも、2019年5月にモデルチェンジしました。
- 新たなオプションとして、手術前後に筋肉の弛緩状態をモニタリングするための筋弛緩モジュールを発売しました。当社のコア技術である筋電図計測技術を応用し、簡単な装着でスピーディに測定が開始できるだけでなく、様々な手術に対応することが可能です。

治療機器事業

救急蘇生分野における トータルソリューションの提供

【救急車】



救急車搭載除細動器
NEW! EMS-1052

- ・ クラス最小・最軽量を実現し、機動性を追求
- ・ 操作性、モニタリング機能を向上
- ・ 独自技術による高付加価値化



人工呼吸器事業の早期立ち上げ

1. NPPV※2人工呼吸器の投入

総合技術開発センターで開発

ターゲットは一般病棟

2019年度Q1発売
(日本、欧州、新興国)

《診療実績》患者さんのQOL向上

- ・ 日本人の骨格形状にフィットするようにマスクを独自にデザイン
- ・ フィッティング性の向上でリークが低減、皮膚トラブルのリスクも軽減、患者さんの快適性も向上



《医療安全》安全な呼吸管理を提供

- ・ NPPV中もSpO₂とCO₂のモニタリングが可能



NEW! NKV-330

※1 12誘導心電図の波形をもとに、右側誘導、背部誘導の波形を演算により導出する技術

※2 Noninvasive Positive Pressure Ventilation: 非侵襲的陽圧換気。気管内挿管や気管切開を行わずに人工呼吸管理

19

- コア事業の2つ目として、治療機器事業についてご説明します。
- 治療機器事業では、新たに、救急車搭載除細動器を国内で発売しました。クラス最小・最軽量を実現し、機動性を追求するとともに、操作性の向上を図りました。当社独自の技術を搭載し、モニタリング機能を強化しました。今後、欧州、新興国でも発売を予定しています。
- また、これまで輸入品のみだった人工呼吸器ですが、自社開発を進めてきた成果が実り、2019年6月、一般病棟向けの人工呼吸器を国内で発売しました。その後、欧州、新興国でも販売を開始しています。
- 本製品は、気管内挿管や気管切開をせず、マスクを用いて非侵襲的な呼吸管理を行うNPPV(非侵襲的陽圧換気)人工呼吸器です。
- これまで培ってきた独自技術を活用したモニタリング機能を搭載し、安全な呼吸管理を提供します。また、日本人の骨格形状にフィットするようマスクも独自に開発し、空気もれを低減したほか、装着時における患者さんの快適性を向上させました。

治療機器事業

人工呼吸器事業の早期立ち上げ

2. 日本光電オレンジメッド製人工呼吸器の投入

米国で開発・生産

ターゲットはICU

2019年度Q2
新興国発売

2019年度Q3欧州発売、
米国での臨床評価開始を予定

《診療実績》

患者さんの肺保護

- ・ 人工呼吸管理の第一人者のドクターからアドバイス
- ・ 人工呼吸器関連肺傷害の予防を目的としたアプリケーションを提供

Gentle Lung™



《医療安全》

安全な呼吸管理を提供

- ・ 日本光電の独自技術を搭載し、SpO₂とCO₂をモニタリング



感染リスクを低減

- ・ 病室外からの操作が可能

Protective Control™



NEW! NKV-550

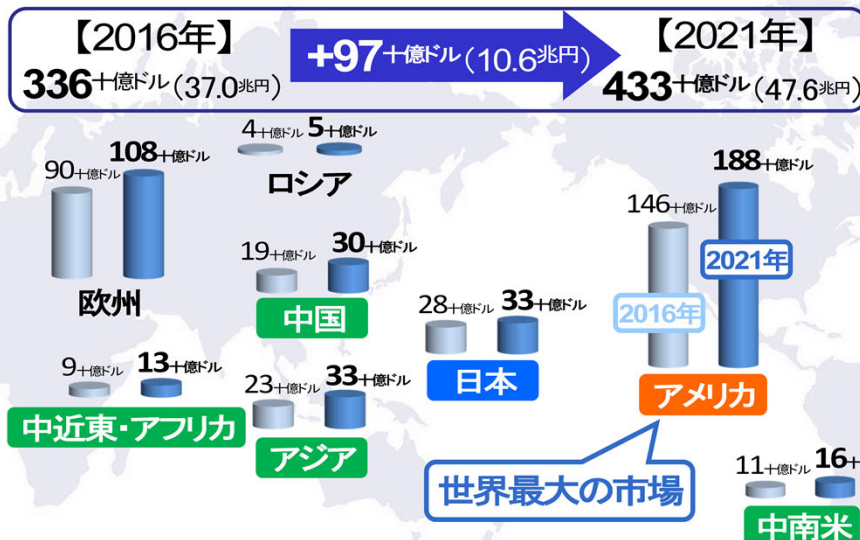


- 2015年に米国に設立した日本光電オレンジメッド製の人工呼吸器を新たに発売しました。人工呼吸管理の第一人者の方々からのアドバイスを取り入れた、ICU向けの人工呼吸器です。
- 重症な患者さんの肺を保護するためのアプリケーションや、当社独自技術によるSpO₂とCO₂のモニタリング機能を搭載し、より安全な呼吸管理の提供を目指します。
また、感染リスクを低減するため、病室の外に設置したディスプレイから操作する機能も実現しました。
- すでに、新興国と欧州で発売しましたが、市場からの評価も高く、順調に立ち上がり始めています。米国では下期から臨床評価を行い、2020年度に発売する予定です。

世界の医療機器市場

年平均5%成長。
米国、新興国が牽引

3つの地域
に注力



出所: Mediatat Worldwide Medical Market Forecasts To 2020. BMI Research

※1ドル=110円で換算

21

- 地域別事業展開の強化について、日本、アメリカ、新興国での取り組みをご説明します。
- こちらは、世界の医療機器市場を示したグラフです。世界の医療機器市場は、2016年時点で37兆円とされています。5年後の2021年には47兆円と、約10兆円増加する予想で、市場自体が拡大基調にあります。
- 地域別では、アメリカが世界最大の医療機器市場で、世界市場の約4割を占めています。2番目は日本で、世界市場の1割弱の約3兆円とされています。しかし、今後は中国、アジア・中近東などの新興国市場の成長が期待されています。
- したがって、日本光電では、日本、アメリカ、新興国の3つの地域に注力しています。

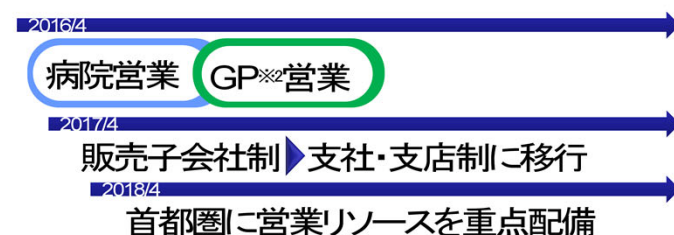
日本: 高齢社会の医療ニーズに応える新たな成長基盤の構築

✓ 新製品・サービスの投入による 市場別事業展開の強化



※1 日本でホコンティニアス・モート限定

✓ 販売・サービス体制の強化・再編



「顧客価値提案」の推進

医療安全 診療実績 業務効率 につながる
提案営業力の強化、サービスの拡充

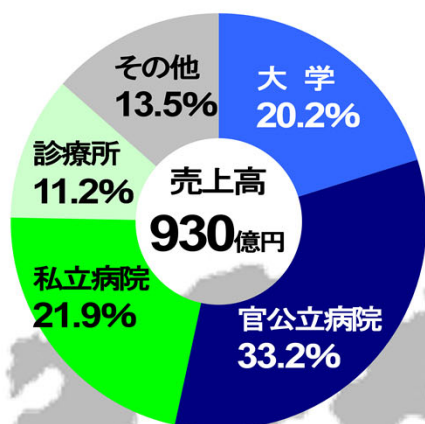


※2 GP: General Practitioner 総合診療医

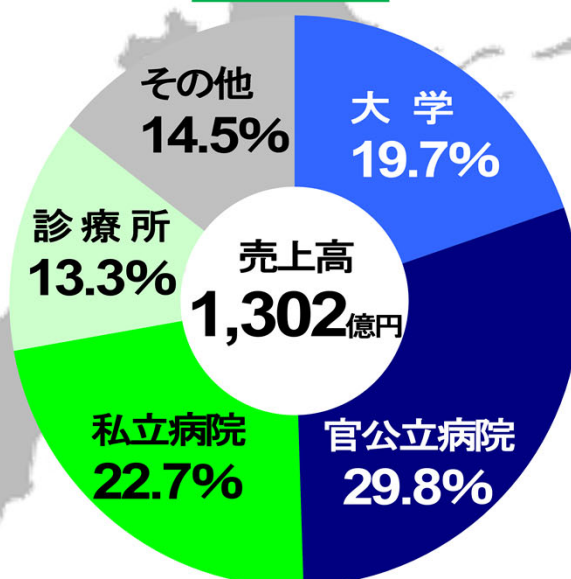
- まず、日本の取り組みをご紹介します。
- 日本では、団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けた医療提供体制の変革が進められています。これまでの、急性期から慢性期まで1つの病院で完結する医療から、地域の各医療機関が急性期や回復期といったそれぞれの機能を分担し、相互に連携し地域の医療を支える、という体制へ移行しています。
- このような市場環境の変化に対応して、日本光電は高齢社会の医療ニーズに応える新たな成長基盤を構築するため、商品ラインアップ拡充による市場別事業展開の強化に取り組んでいます。
- 今期は新たに、ベッドサイドモニタ、スポットチェックモニタ、医用テレメータ、除細動器、当社初となる人工呼吸器などを相次いで投入しました。
- また、医療提供体制の変革への対応として、販売・サービス体制の強化・再編を進めています。
「医療安全」「診療実績」「業務効率」の向上につながる「顧客価値提案」を推進することで、提案営業力の強化、サービス拡充に注力します。

地域別売上高 ー日本ー

2010年度



2018年度



※その他には、研究所、動物病院、消防など行政機関のほか、AED納入先である学校や民間企業を含みます。

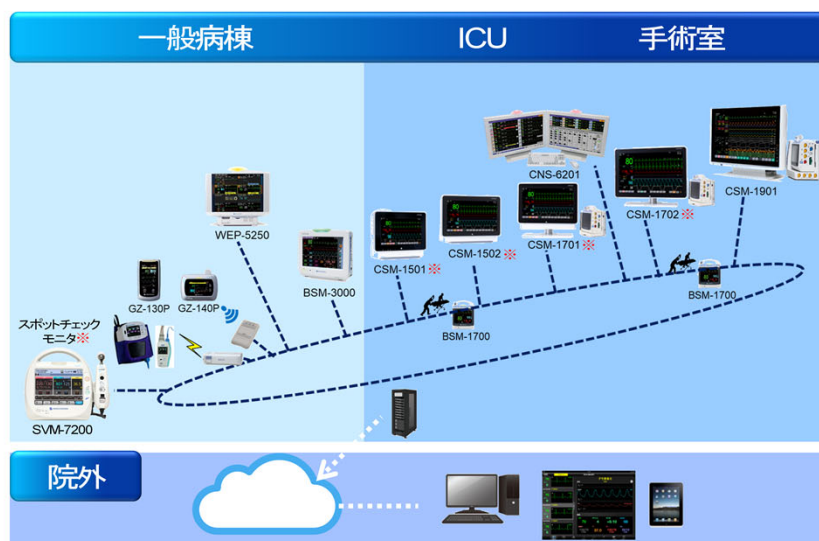
23

- こちらは、国内の売上高構成です。
- 昨年度の売上高は、1,302億円でした。
- 日本光電の国内のお客様は、大学、官公立病院が半数を占めます。
続いて私立病院、診療所の順となります。
その他には、AEDを設置している学校や公共施設が含まれています。
- 日本光電ではここ数年、市場環境の変化に合わせ、回復期、慢性期の担い手である私立病院および診療所に注力していることから、徐々にその構成比が上がっています。

世界最大・最先端のアメリカでの事業基盤の強化

✓ 医療の質と効率の向上に貢献するソリューションの提供

✓ スポットチェックモニタの投入により、院内の全ての患者データの一元管理が可能に



※スポットチェックモニタは2019年度下期発売予定。
CSM-1500/1700は2020年度上期FDA申請予定。

24

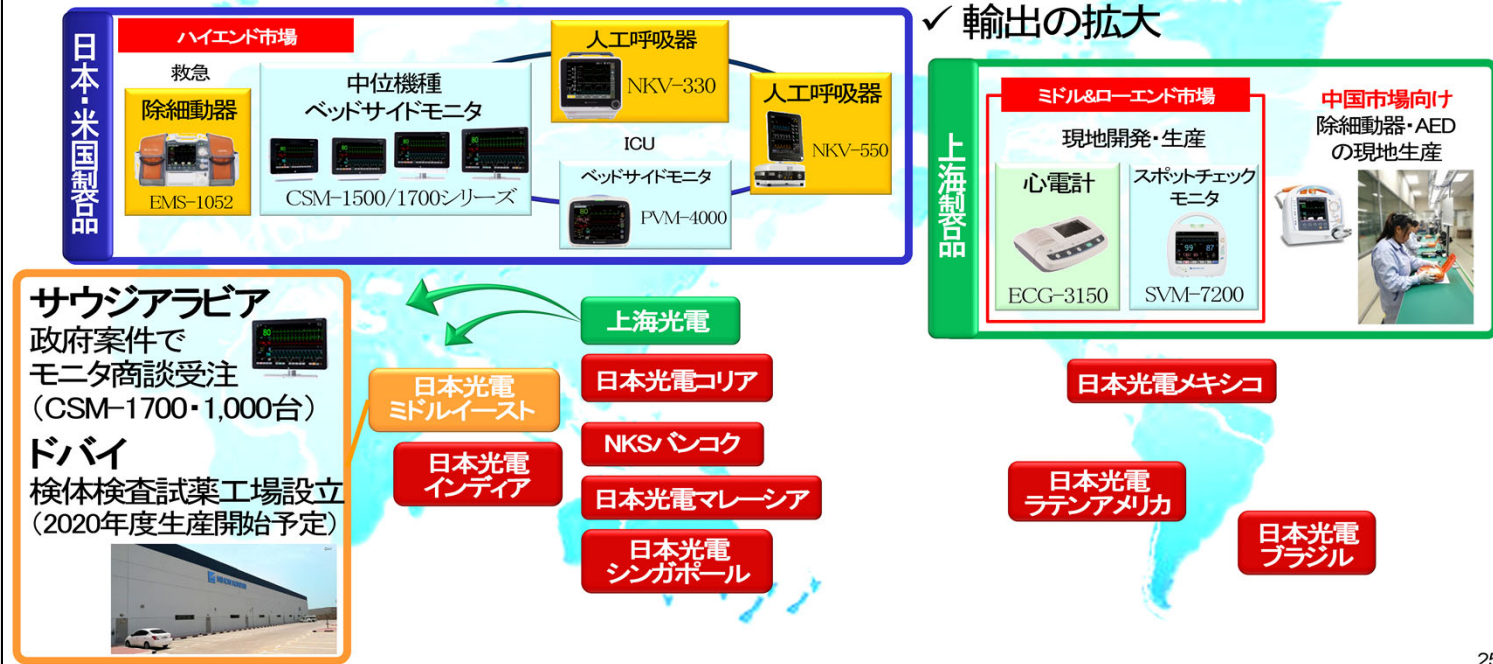
- 続きまして、アメリカの取り組みをご紹介します。
アメリカは世界最大、最先端の市場です。ここで日本光電の存在感を高めることが、海外事業を伸ばす上でも必要と考えています。
- 医療の質と効率の向上に貢献できるソリューションを提供するために、生体情報モニタ、脳神経系群、治療機器の3つの事業の連携を図るとともに、人工呼吸器市場へ参入する準備を進めており、日本光電オレンジメッドで開発した人工呼吸器の2020年度発売を目指します。
- 生体情報モニタリング事業の拡大に向けて、NKUSラボでの現地開発体制を強化し、ワイヤレス技術を活用した大規模ネットワークシステムへの対応に注力しています。
- 今年度は、アメリカ市場で広く普及しているスポットチェックモニタを当社で初めて投入する予定です。これによって、院内の全ての患者データを一元管理することが可能になり、包括的なモニタ商談機会の獲得を目指します。

新興国市場の医療ニーズに応える戦略的事業展開

✓ 新製品の投入による提案力の強化

✓ 上海光電製のラインアップ拡充

✓ 輸出の拡大

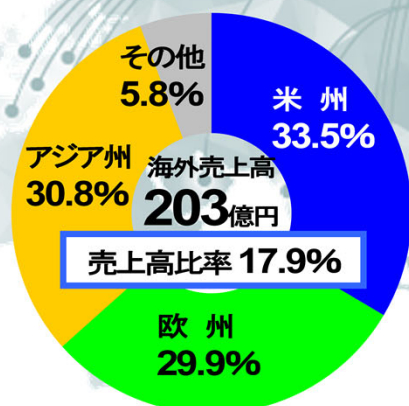


25

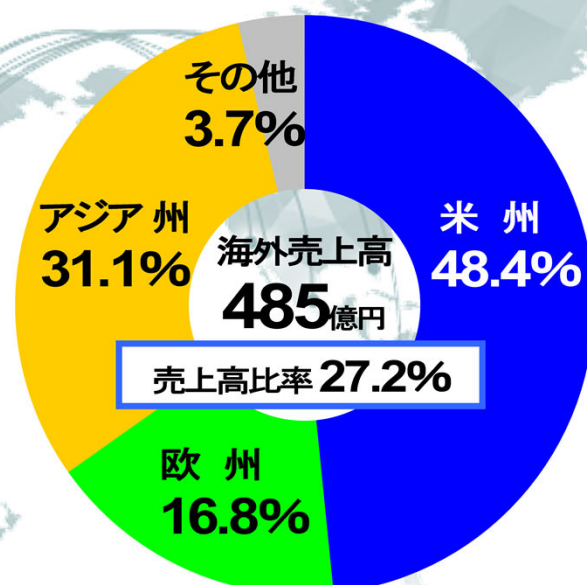
- 最後に、新興国市場の取り組みをご紹介します。
新興国市場では、各地域の医療ニーズに応える戦略的な事業展開を進めています。
- ハイエンド市場向けには、日本・米国で開発・生産する付加価値の高い新製品を投入し、提案力強化を推進します。
今期は、新興国向けベッドサイドモニターに加え、2機種の自社製人工呼吸器を新たに投入しました。除細動器も下期の投入を予定しています。
- ミドル&ローエンド市場向けには、コスト競争力の高い上海光電製のラインアップを拡充し、輸出の拡大を行っています。
今期は、心電計やスポットチェックモニターを投入しました。
特に成長の期待される中国市場向けには、新たに除細動器とAEDの現地生産を開始し、市場環境の変化に対応しています。
- 中近東では、サウジアラビア政府からモニターの大口商談を受注しました。
また、中東・アフリカにおいて検体検査の需要が拡大傾向にあることから、高品質な純正試薬の安定供給を行うため、ドバイに試薬工場を設立し、2020年度の生産開始に向けて準備が進んでいます。

地域別売上高 — 海外 —

2010年度



2018年度



- こちらは海外の売上高構成です。
- 昨年度の売上高は、485億円で、海外売上高比率は27.2%でした。2010年度の17.9%と比べて高まっています。
- 地域別では、アメリカ・中南米を含む米州が48.4%、欧州が16.8%、アジア州が31.1%、その他が3.7%という構成です。米国と新興国を注力すべき地域として取り組んできた結果、米国と中南米を含む米州の構成比が高くなっています。

医療に国境はない

「医療に国境はない」

**国や主義を超えて
人の病をいやすため
先端技術で挑戦**

- 「医療に国境はない」、これも創業者 荻野 義夫の言葉です。
- 一人でも多くの患者さんを救うために、
国や主義を超えて人の病を癒すために先端技術で挑戦する、
というのが日本光電の想いです。

3 株主様への還元について

- 続いて、株主様への還元についてご紹介します。

株主様への還元

利益配分の基本方針

- ✓ 成長投資を継続
- ✓ 長期に亘って安定的な配当を継続
- ✓ 連結配当性向30%以上を目標

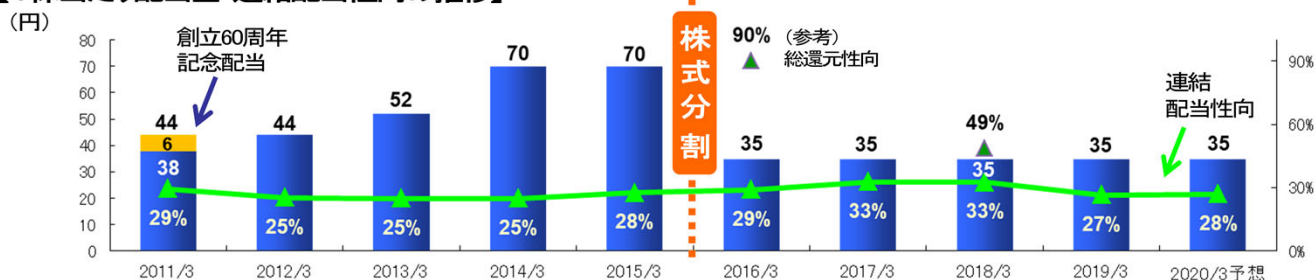
研究開発

設備投資

M&A、提携

人財育成

【1株当たり配当金・連結配当性向の推移】



注) 2015年4月1日を効力発生日として株式1株につき、2株の株式分割を実施。2014年度までの数値は、株式分割前の実際の配当金の額を記載。

自己株式の取得・消却状況

2018/3/2
50万株を取得



2018/5/21
100万株を消却

自己株式保有: 357万株
(持株比率: 4.0%)

配当利回り: 1.2%
(12月17日株価: 2,920円)

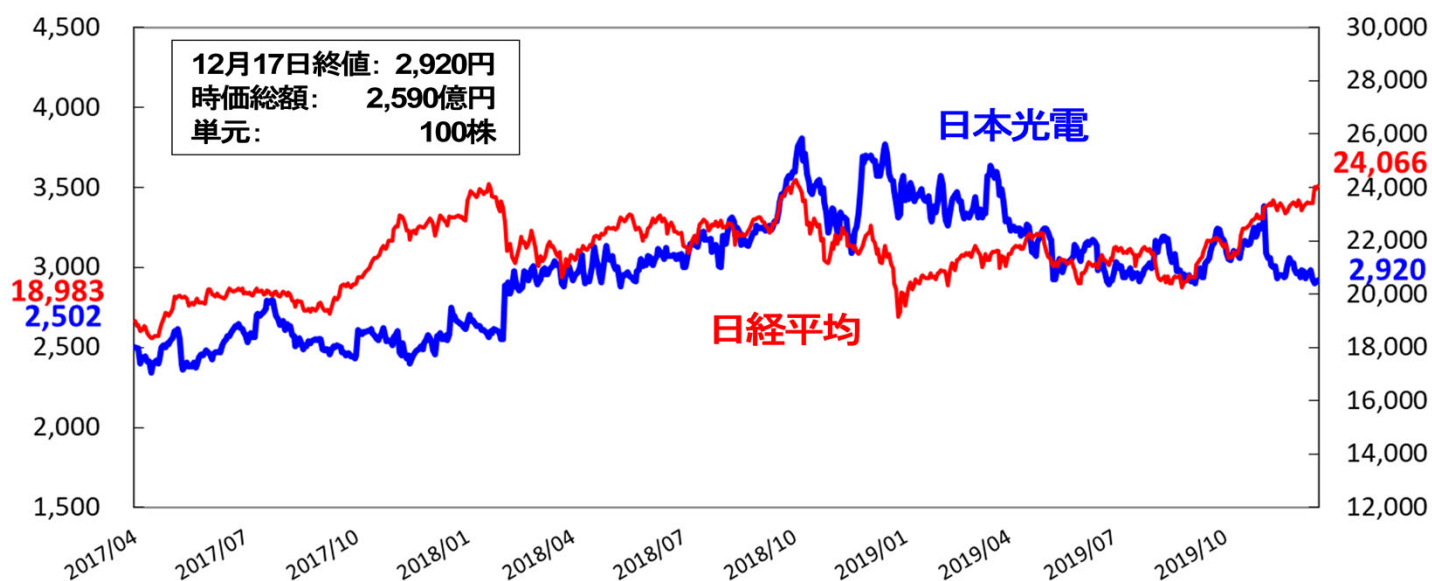
- 株主様への還元につきましては、「長期に亘って安定的な配当を継続する」ことを基本方針にしています。連結配当性向は30%以上を目標としています。
- 今年度の年間配当金は1株当たり35円、配当性向は28%の予想となっています。配当性向は30%を下回りますが、まずは増収増益の計画を達成し、株主の皆様へ還元していきたいと考えています。
- 配当利回りは、12月17日の株価で1.2%です。
- 自己株式の取得と消却は、機動的に検討しています。直近では、2018年3月に50万株を取得し、5月に100万株を消却しています。自己株式保有比率は4.0%です。



株価推移 (2017年4月3日～2019年12月17日)

日本光電(円)

日経平均(円)



30

- こちらは株価の推移です。
青色が日本光電の株価、赤色が日経平均です。
- 株価は12月17日時点で2,920円、時価総額は2,590億円です。
単元株は100株ですので、30万円ほどでご購入いただけます。
ご検討いただけましたら幸いです。

4

CSRへの取り組み

- 最後に、CSRへの取り組みについてご紹介します。

CSR(企業の社会的責任)への取り組み

医療

- ✓ 全社員が心肺蘇生+AED講習会を受講



- ✓ 心肺蘇生とAEDの普及活動



メキシコへのJICA
民間技術普及促進
事業に採択

環境

- ✓ 環境配慮型製品の提供

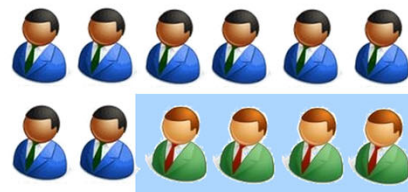


ホルター心電計 RAC-5000シリーズ

- 「仮り貼り可能」電極
- 有害物質不使用
- 鉛フリー化

企業活動

- ✓ 独立社外取締役の比率 1/3



社外取締役4名

社会的責任投資(SRI) 指数の構成銘柄に選定



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



2019 Constituent
MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数

- 日本光電は、CSR中期計画において、医療、環境、企業活動の3つを重点分野として設定し、取り組みを進めています。
- 医療面では、国内唯一のAEDメーカーとして、全社員が心肺蘇生とAEDの講習会を受講しています。また、海外においても、メキシコなど新興国でのAED普及活動を行っています。
- 環境面では、環境に配慮した製品の提供に取り組んでいます。ホルター心電計では、貼り直し可能な電極の開発に取り組むとともに、有害物質を使用しない設計を実現しました。
- 企業活動においては、経営の透明性、健全性を高めるため、独立社外取締役の比率を3分の1としています。
- 日本光電のCSRの取り組みに対する外部の評価として、社会的責任投資指標である、FTSEやMSCIの構成銘柄に選定されています。今後も継続して選定されるよう、取り組みます。



株式情報

日本光電は JPX-NIKKEI 400 「JPX日経インデックス400」採用銘柄です

日本光電	2016年度	2017年度	2018年度
ROE	9.1%	8.6%	9.9%
営業利益	135億円	145億円	150億円
時価総額(2019年12月17日時点)	2,590億円		
独立社外取締役 (取締役総数の1/3 or 3名以上)	○(4名で1/3以上)		

2016年6月『監査等委員会設置会社』に移行しました

- 日本光電は、JPX日経インデックス400の採用銘柄です。
JPX400は、投資家の皆様にとって、投資魅力の高い会社で構成される株式インデックスです。
- 2014年の開始当時から6年連続で採用されており、
今後も継続できるよう、CSRに向けた取組みを強化してまいります。

ホームページのご案内

当社ホームページを是非ご覧ください。

日本光電

検索

＜IR情報＞

<https://www.nihonkohden.co.jp/ir>



＜AED情報＞ <https://www.aed-life.com>



＜テレビ・映画で活躍する日本光電製品＞

<https://www.nihonkohden.co.jp/ippan/media.html>



- 最後にホームページのご案内です。
- 特長的な点は、テレビ・映画で活躍する日本光電製品を紹介している点です。ドラマや映画の撮影に、日本光電はAEDや生体情報モニタを貸し出していますので、是非一度ホームページをご覧ください。
- 以上で日本光電の会社紹介を終わります。ご清聴ありがとうございました。

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】経営戦略統括部

【連絡先】TEL03-5996-8003